





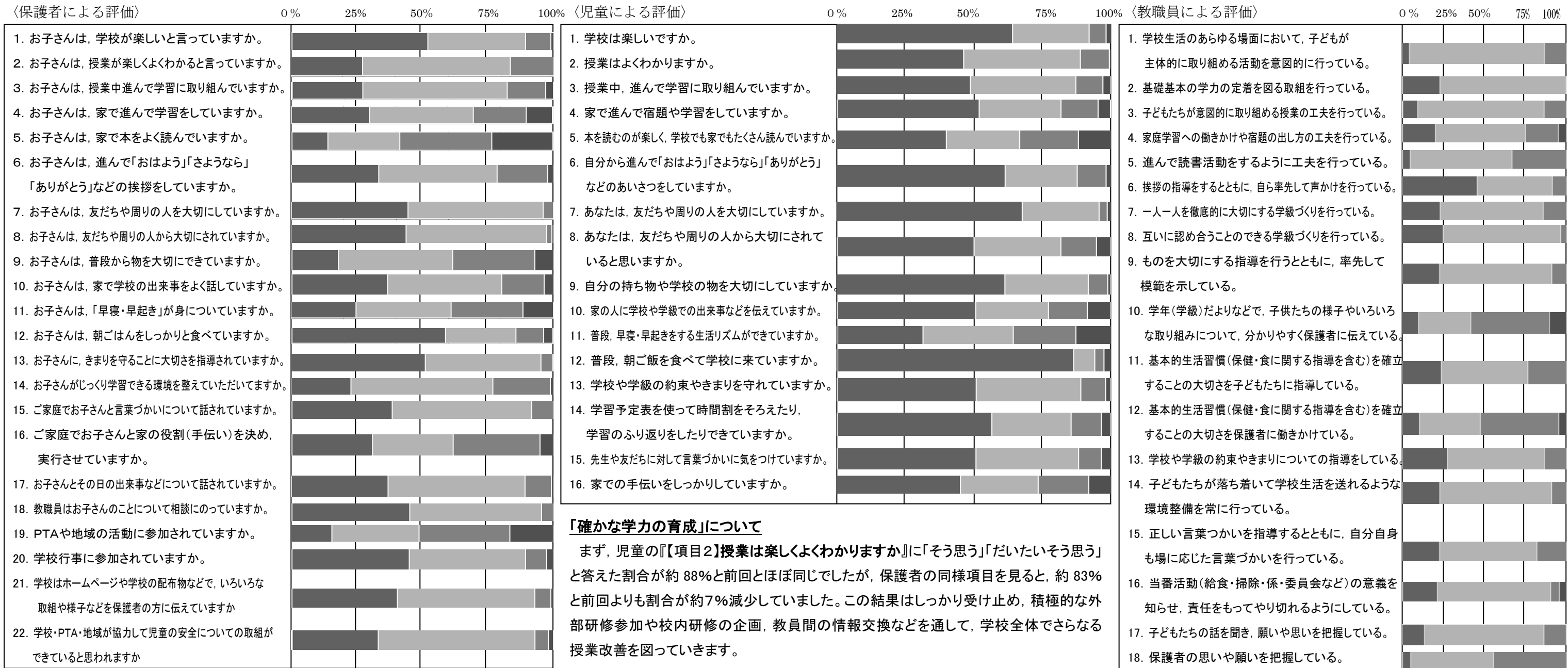
学校評価を児童の豊かな学びと育ちへ

【令和2年度1月実施 学校評価（保護者 児童 教職員）のまとめ】

左から  そう思う  だいたいそう思う  あまりそう思わない  そう思わない



平素は、本校教育推進にご支援とご協力をいただき、誠にありがとうございます。1月に実施いたしました学校評価の集計ができました。保護者の方々からも多くのご回答をいただきました。心より御礼申し上げます。



「よりよい人間関係づくり」について

まず、児童の『【項目7】あなたは、友だちや周りの人を大切にしていますか』に「そう思う」「だいたいそう思う」と答えた割合が約96%、保護者の『【項目7】お子さんは、友だちや周りの人を大切にしていますか』も同じく約96%と、前回に引き続き、良好な回答を得ることができました。また、児童の『【項目6】自分から進んで「おはよう」「さようなら」「ありがとう」などのあいさつをしていますか』も同様に約88%と、自分からのあいさつを心がけている児童も多くみられます。学校でも、児童会を中心としたあいさつ運動を取り組み続けていきます。

しかし、児童の『【項目15】先生や友だちに対して言葉づかいに気をつけていますか』に「そう思う」「だいたいそう思う」と答えた割合が約88%と、前回の約90%から減少していました。さらに前々回から見ても、減少傾向にあります。引き続き、相手に寄り添った言葉づかいも大切にできるような指導を心がけていきたいと思ひます。

「確かな学力の育成」について

まず、児童の『【項目2】授業は楽しくよくわかりますか』に「そう思う」「だいたいそう思う」と答えた割合が約88%と前回とほぼ同じでしたが、保護者の同様項目を見ると、約83%と前回よりも割合が約7%減少していました。この結果はしっかり受け止め、積極的な外部研修参加や校内研修の企画、教員間の情報交換などを通して、学校全体でさらなる授業改善を図っていきます。

また、児童の『【項目4】家で進んで学習や宿題をしていますか』に「そう思う」「だいたいそう思う」と答えた割合は、前回に引き続き約83%という結果でしたが、保護者の同様項目では、約70%と前回よりも割合が約8%減少していました。自分の将来の可能性を広げるためにも、学び続ける力は必要不可欠です。授業中に「わかったつもり」と「本当にわかった」は違います。「聞いたことは忘れ、見たことは覚え、行ったことは理解する」という言葉もあるように、「本当にわかった」レベルまで高めるには、その日のうちに復習をするなど、繰り返しやってみることが大切です。また、【項目5】の読書に関する質問も依然として低い水準です。成長期に活字に触れる機会を多くもつと、言語力・表現力の形成に好影響を与えます。ご家庭でもそれらのサポートをしていただければ、ありがたいです。

「基本的な生活習慣の確立」について

児童の『【項目11】普段、早寝・早起きをする生活リズムが身についていますか』に「そう思う」「だいたいそう思う」と答えた割合が64%と、前回よりも約8%減少していました。さらに児童の『【項目12】普段、朝ごはんを食べて学校に來ていますか』の割合も同じく約83%と約12%減少していました。

毎年、冬になると寒さからか、なかなか起きられない児童が増えてきます。起床時間が遅れると、朝食の時間も十分にとれなくなります。成長期の健やかな体の成長、脳の発達において「早寝・早起き・朝ごはん」は大切な生活習慣です。ご家庭でも励ましのお声かけをよろしくお願ひします。学校でも引き続き、生活リズムを整えることの大切さについての指導を継続していきたくと思ひます。

【教職員の自己評価について】項目15「正しい言葉づかいを指導し、自分もやっている」の「そう思う」と答えた割合が、前回から約7%減少していました。この意識が児童の同様項目にも影響を与えたと考えています。正しい言葉づかいだけでなく、あらゆる面で児童の模範となるよう改善を図っていきます。